

ビデオマンの挑戦 (2月号)

八王子映像ビデオマン : Isomitsu Nogami 2020.1.27

2月ですね。1月号は多忙の為執筆できませんでした。でも年賀状はビズネットの方も含めて多くの方々から頂戴できました。一番嬉しかったのは有限会社ドルフィン交易八王子映像の友からの年賀状だった。自分が映像を学びコンテストなどの面白さを教えて頂いた古巣の仲間である。一緒にビデオ講座などを開いたことは忘れられない。私も恥ずかしくないビデオマンとして社会人として活躍して行きたいと強く思った次第です。

1月で忙しかったのは「八丈島パブリックロードレース」に参加した為である。ご存知の方が多いと思いますが東京に属している伊豆諸島の中のひとつ、八丈島 (はちじょうじま)。東京・竹芝から大型船で約 11 時間、羽田空港から飛行機を利用すれば約 55 分でアクセスできる離島です。

私は 10 Km にエントリーし見事に完走して帰ってきました。どうせ走るならカメラを持って辺りの様子も映しながら走りたいというビデオマンのドキュメンタリーマインドが背景にはあった。この企画は首都大学東京・生命科学コースの野外講座 自然と歴史・文化を訪ねて～パブリックロードレースの楽しみとともに～生命科学コースの黒川先生の講座に参加してのエントリーだ。曇り空の下、八丈太鼓が鳴り響くスタートとなりました。

https://www.youtube.com/watch?v=guSGs_NM-MA&t=30s



宿屋の WiFi を利用してその日の夜のうちに YouTube へアップロードができた。次の日は八丈島歴史民俗資料館へ「伊藤宏先生」の案内で見学をさせて頂きました。撮影の許可を頂きその様子をビデオ撮影、八丈島の各所を周り島の由来や残された遺跡を事細やかに説明され思い出の記録を残せた。伊藤先生は地元の学校で長く教鞭を執られていた方で別れに飛行場まで名残が辛かった。

撮影までにはいろいろありました。実は出発前に八丈島歴史民俗資料館に取材の申し入りのメールを致しました。すると八丈島町教育委員会の方から撮影についてという返事を受信しました。それにはコマーシャルとして (お金儲け) の撮影であるのか、個人的な撮影であるのかの確認でした。

このパブリックロードレースは島民挙げてのイベントですので当然その辺りでチェックが入っ

たものだと思います。会社としての撮影なのか個人としての撮影なのかは大きな意味を持っています。もし会社が営利を目的としての撮影であるならお金を払ってくれる会社のニーズに沿って撮影をするのが自然の流れです。クライアントの意に沿うものとなると・・・バイアスがかかるのは仕方ない事です。今回も撮らないでという場所では撮影を当然控えました。

マラソンをしている所を撮影するのは他の人も帽子にGOPROのカメラを付けて走っている人がいましたというお話を聞いて、今はもうそういう時代なのだと3Kmのコースと10Kmのコース・ハーフのコースはそれぞれ走る場所が違ってきます。そういう意味では道路で応援してくれる人達（八丈太鼓やトランペットを引いてくれる人）など水やジュースを沿道で応援してくれる人がなんとも人情を感じましたね・ガンバレ・ガンバレ！ オウと言った言葉を交わしながら走るのは気分爽快です。なんせ私は聖火ランナーのように右手に **Manfrotto Compact** 小さな一脚の上にハンディカムを載せて 360 度自由に撮影できる体制で走ったのです。目立ちます。皆さんその体制で応援してくれるのでこちらも完走しなくては申し訳ない(笑)

一番勇気を与えてくれたのは地元の中学生の野球部でした。この一団はグループで走って掛け声もみんな一緒にしてくれる。このグループが私のすぐ後ろから迫ってきてとうとう最後まで走らなければならない運命となってしまったのです（泣）

https://dolphin50.com/video/hachi_gaku/hachi_gaku.html

(36 分の映像です、自社サイトにアップロード)



今年のスタートは何となく運に恵まれてきたような思いが致します。病気の経過観察 5 年目を迎えた。来年もこの八丈島パブリックロードレースに参加できるよう頑張れば自然と体力も付いてくる。ポジティブな思考で活動して行こう・FB や YouTube へ日記代わりにアップして行きます。

Dolphin Trading Inc. Rep. 野上五十満